

2021年2月16日

情報公開文書

「生活習慣病やアレルギー疾患の新しい予防法確立に資する健康な日本人の腸管免疫と腸内細菌データベースの構築に関する疫学研究」へご協力を頂いた皆さまへ

表題の研究計画「生活習慣病やアレルギー疾患の新しい予防法確立に資する健康な日本人の腸管免疫と腸内細菌データベースの構築に関する疫学研究」につきまして研究責任者の変更について周知させていただきます。その概要を記載いたしますので、ご質問・ご相談等がございます場合、下記のお問い合わせ先までお問い合わせください。ご自身が提供された試料を委託分析してほしくないと思われました場合にも、お問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた場合は、試料の外部委託をいたしません。

【研究責任者の変更】

宮地元彦：医薬基盤・健康・栄養研究所 身体活動研究部・部長（2021年3月31日まで）

南里妃名子：医薬基盤・健康・栄養研究所 身体活動研究部・室長（2021年4月1日より）

1. 研究課題名

生活習慣病やアレルギー疾患の新しい予防法確立に資する健康な日本人の腸管免疫と腸内細菌データベースの構築に関する疫学研究

2. 本研究課題の目的

食事・栄養状況や身体活動・運動などの生活習慣と腸内細菌叢に関する研究（本研究および既存の他の研究）から得られたヒト試料や情報を対象に、生活習慣病やアレルギー疾患の新しい予防法確立に資する健康な日本人の腸管免疫と腸内細菌データベースを構築し、そのデータを横断的に分析することにより、生活習慣、腸内細菌叢、腸管免疫、疾患発症との相互関係を明らかにすることを目的としております。

3. 研究対象者

2015年9月から2018年3月までの期間に、「生活習慣病やアレルギー疾患の新しい予防法確立に資する健康な日本人の腸管免疫と腸内細菌データベースの構築に関する疫学研究」にご同意いただいた方から収集した試料を研究対象とします。

4. 外部委託の目的と方法

腸内細菌叢は様々な代謝産物を産生します。その代謝機能を解明するために、糞便に含まれる腸内細菌叢のゲノムを解読することで、腸内細菌叢がどのような代謝を行っているのかを推定することを目的とします。そこで、「生活習慣病やアレルギー疾患の新しい予防法確立に資する健康な日本人の腸管免疫と腸

内細菌データベースの構築に関する疫学研究」に参加頂いた方の糞便試料から抽出した DNA を用いて、腸内細菌叢をショットガン法によりメタゲノム解析します。これらの試料から得られた分析結果を本研究のデータベースに格納し、様々な統計学的手法を用いて、生活習慣－腸内細菌叢－疾患発症との関連を解析します。現在本研究所内でこの方法を実施するためには多くの人手と分析期間を必要とします。専門の分析業者に本業務を委託することで、迅速かつ正確に目的とする解析結果を得ることができることから、外部委託を行うこととなりました。

個人を特定できる情報は委託機関に一切提供しません。また、個人情報保護に関する基本方針を明示した委託先のみを選定し、委託後もその遵守を徹底させるよう緊密に監督します。

5. お問い合わせ先

医薬基盤・健康・栄養研究所 身体活動研究部

南里 妃名子

〒162-8636 東京都新宿区戸山 1-23-1

電話 03-3203-8061